

2016年  
クイーン倶楽部だより 4月号  
第158号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
URL <http://www.eco-rice.jp/>  
E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)



市が運営する子育て支援施設で、子供とお母さんを前に防災を学ぶ教室が開催され、クッキーを試食していただきました。  
講師はソフトバンクのロボット“ペッパー”くん！森長岡市長も参加し、交流しました。

災害に備える

長岡市でアレルギー対応クッキーの備蓄が始まりました



特産品のパンフレットでもご紹介している“米粉のクッキー”が、今回、長岡市の災害用備蓄食に採用されました。

米粉のクッキーは、アレルギー児でも安心して食べられるよう、小麦や卵などのアレルゲン27品目を使わずに作ったクッキーで、昨年から新潟県内の幼稚園・保育園のおやつに採用されています。

微量でも命の危険にさらされてしまうアレルギーは重要な問題です。それ故災害後の混乱した避難所で、アレルギーの有無を気にすることなく同じものを食べられるのは、配布する側される側、両者にとって余計なストレスがかかりません。

長岡市では、今後3年間で1万食を備蓄する予定です。



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクタ “N”の 私にも一言言わせて

その12

※ドクタ…英語で博士の意味

正論暴言

3月中旬に、大阪の中学校校長先生が「女性にとって最も大切なことは、子供を2人以上産むことです」と発言しました。この発言をテレビ局は暴言ととらえ、教育者にあるまじき言動と報道し、コメンテーターも女性の生きる自由を奪う人権問題と解説し、教育委員会も処罰を考えていると犯罪者扱いで流しています。

私には校長先生の発言は暴言には聞こえません。そういう意見もあるよね、としか聞こえません。校長先生は既に生じている日本の人口減少を憂えての発言といえます。

昨年12月4日に政府が特殊合計出生率1.8を目指すと発表しましたが、それに対して応えたのでしょうか。特殊合計出生率とは15歳から49歳の1人の女性が生涯に産む子供の数です。2人産めば将来人口は現状維持、2人以上で増加するとなっています。現在は1.42で、人口減少時代に入っている訳ですが1.8では緩やかな減少効果のみで、増加にはなりません。やはり2人以上を目指すべきです。

民主主義の善さは色々な意見を言い合ひ、いずれを採るかを決めることにあります。校長先生のような意見も重要な意見です。それを、暴言とし、女性よ、そんなことではダメです、自分の生き方に徹しなさいとしますが、人口問題は減少やむなしと言っていることになりません。この発言を機にテレビ論争したほうが有意義で視聴率も稼げたのでしょうか、もったいないことをしました。

米国では、大統領選が華やかで、トランプ氏旋風が吹き荒れています。何せ暴言王で自党の共和党が降ろしに躍起になっています。同じ共和党のクルズ氏と奥さんのしり問題に発展し、互いに罵倒し合っている中で、庶民は民主主義を楽しんでいるように見えます。